

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 年	保育内容・環境		
サブタイトル	領域「環境」のねらいと内容の理解	単 位 数	1
授業形態	演習	出席要件	4 / 5 以上
開講時期	後期+		
到 達 目 標			
1 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」のねらい・内容・内容の取扱いについて理解し、説明することができる。 2 身近な環境と子どもとの関わりの具体的な姿より、領域「環境」の教育的意義について理解し、保育を構想できる。 3 環境の整備、安全管理について学び、指導を行う際の具体的配慮事項について理解することができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育に対する情熱・使命感・責任感を持ち、子どもの発達に即した援助を行うための専門知識を習得とともに、子どもを取り巻く環境や境域課題を理解し、解決に向けて対応することができる。 ・多様な協働学習や実践的な学びを通して、豊かな人間性を身につける。 ・カリキュラムマップの「保育を構築する」の2年前期に位置づいており、保育内容の中核をなす科目として、確かな学びの構築を図る。 			
授 業 の 方 法			
1 子どもの身近な環境に関する基礎理論を幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、事例や映像を通して実践的に学ぶ。 2 情報収集、グループワーク、発表などのアクティブ・ラーニングの授業展開で主体的・対話的で深い学びにつなげる。 3 身近な環境に親しむための直接的・具体的体験を通して、感性を豊かにするとともに、実践的知識・技能を習得する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 2018 年 テキスト：『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 2018 年 テキスト：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル 2018 年			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」のねらい・内容等について理解し、説明することができる。 ・保育環境の教育的意義について理解し、説明することができる。 ・情報収集、グループ討議、体験活動等へ積極的・意欲的に参加し、発言したり学びの内容を説明したりすることができる。 ・授業の振り返りをまとめることができる。 		定期試験 60% ワークシート・レポート、振り返りシート、発表等 40%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから身近な「環境」に関心をもつこと。 ・他者から学ぶ気持ちを持ち、グループ討議では積極的に発言をすること。 ・ノートの指定・提出はしない。 ・保育現場経験のある教員が担当し、理論と実践が往還するように授業を展開する。 			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	<p><ガイダンス・「環境」とは></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、内容、進め方について理解する。 ・保育の基本及び環境を通して行う教育について理解する <p><3歳未満児の領域「環境」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育・1歳以上3歳未満児における環境について理解する 	授業の目的・概要理解 保育の基本理解 領域「環境」理解 3歳未満児「環境」理解
2回	<p><3・4・5歳児の領域「環境」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」ねらいについて理解する ・領域「環境」内容(1)(3)(4)の理解を通して、自然との関わりを考える ・具体的な指導内容、環境について学ぶ 	3・4・5歳児の「環境」のねらい理解 内容(1)(3)(4)の理解 指導法の理解
3回	<p><領域「環境」の内容(5)自然環境・飼育当番活動>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容(5)の理解を通して自然環境としての身近な動植物について考える ・具体的な指導内容、環境について学ぶ ・小動物の飼育方法について調べる 	飼育活動の意味の理解 生命尊重の態度 情報収集力
4回	<p><領域「環境」の内容(5)自然環境・飼育当番活動>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小動物の飼育方法についてグループでまとめる ・プレゼンテーションの準備をする 	情報収集力 協働性 構成力
5回	<p><領域「環境」の内容(5)自然環境・飼育当番活動>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小動物の飼育方法についてグループで発表する ・他のグループの発表を聞き知識を広げる ・幼児が体験する内容や指導上留意すべきことを考える 	プレゼンテーション力 小動物の特徴や飼育方法を理解する
6回	<p><領域「環境」に関する指導計画の作成 チューリップの球根植え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培計画について理解する ・時期や対象年齢を考えチューリップの球根植えの指導案を作成する ・幼児が体験する内容や指導上留意することを考える 	栽培計画の意味の理解 栽培方法の理解 指導案の書き方の理解
7回	<p><領域「環境」に関する指導計画の作成 模擬保育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を基に模擬保育をする ・模擬保育からの気づきまとめる 	発表力 分析力 文章表現力
8回	<p><領域「環境」の内容(2)(7)(8)物的環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容(2)(7)(8)の理解を通して様々なものの性質や仕組みについて考える ・身近な「もの」の環境やそれを利用した具体的な指導について学ぶ 	内容(2)(7)(8)の理解 安全管理の理解 指導法の理解
9回	<p><領域「環境」の内容(9)(10)数量、図形、標識、文字></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容(9)(10)数量、図形、標識、文字などの環境について考える ・具体的な指導内容、環境について学ぶ 	内容(9)(10)の理解 指導法の理解
10回	<p><領域「環境」の(6)(11)(12)地域の文化や伝統、行事、情報等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容(6)(11)(12)を通して、子どもが地域と関わる意義について考える ・園生活の中での文化的環境や伝統について理解する 	内容(6)(11)(12)の理解 指導法の理解
11回	<p><乳幼児の生活と安全な環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活に潜む危険について考える ・「安全能力」を育む安全指導・安全管理について理解する 	安全教育の理解 分析力
12回	<p><物的環境：保育室の壁面>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室の環境のあり方について理解をする ・壁面をグループで考え、作成する 	思考力 表現力 感性 協働性
13回	<p><物的環境：保育室の壁面>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面をグループで考え、作成する 	思考力 表現力 感性 協働性 構成力
14回	<p><物的環境：保育室の壁面>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面をグループで発表する ・他のグループからの気づきをまとめる <p><領域「環境」のまとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらい、内容の確認、及び内容の取扱いについて理解する ・人的環境としての保育者の役割について理解する 	協働性 プレゼンテーション力 領域「環境」の理解 指導法の理解
試験	定期試験	